

2013年 4月 1日

トヨタ東日本学園 2013年度（第1期生）入学式開催

トヨタ自動車東日本株式会社（本社：宮城県黒川郡大衡村中央平1 取締役社長：白根 武史）は、2013年4月1日（月）に、トヨタ東日本学園、第1期生の入学式を行った。

冒頭、社長の白根から新入生に向け、

「入学おめでとうございます。トヨタ自動車の『モノづくりは人づくり』の理念に基づき、私どもは、『人づくりを通じて、東北におけるモノづくり基盤を強くしたい』という思いで当学園を設立いたしました。当学園では、生産技術や機械設備の専門教育を行うために必要な実習設備を備え、『1. 高度な知識・技能を持ち、モノづくりで活躍できる人』、『2. 環境変化に柔軟に対応し、現場マネジメントができる人』、『3. 他の模範となる人格を持って、社内だけでなく社会から信頼される人』、以上3つの目標を掲げて、モノづくり現場の中核人材を育てていきたいと考えています。

本日、入学する皆さんに特にお願いしたいことは、社会人としての基本をしっかりと身につけ、何事にも積極的にチャレンジし、一般の学生ではなく当社の従業員であるという企業内訓練生としての自覚をしっかりともち、『学び、修得することこそが仕事である』ということを中心に刻み、支えて下さっている皆様への感謝の気持ちを、決して忘れないように日々の生活を送って欲しい。」と述べた。

本学園は、トヨタグループでは東北初であり、モノづくり現場の課題である、生産技術・設備の高度化へ対応できる、「モノづくり現場の中核人材の育成」を目指す。

育成プログラムの特色として、トヨタ工業学園をベースに、東北の特長を活かしたプログラム構成を行い、トヨタのモノづくりの基礎・基本を現地・現物で学び、東北のモノづくりから先人の知恵と精神を学び、1年間の教育後、各職場に配属される予定。

学園の概要は以下の通り

- ・主 対 象：東北地方の工業高校 新卒者
- ・生 徒 数：定員30名（新卒：15名、近隣企業：5名、残る10名は中短期受講枠）
- ・期 間：1年間
- ・教育コース：学園としての1年間教育（認定職業訓練課程）と既存社員向けの各種技能講座を設定。

コース	期間	主な内容
長期	1 年	設備制御、保全技術を主体に技能・知識・心身を鍛え、将来職場の中核者を目指す教育
中期	2 ヶ月	保全技術者として必要な技能（電気・機械）を幅広く、体系的に学ぶ教育
短期	1 週間	保全技術者に必要な技能を個々のレベルに応じて選択受講する教育 溶接、機械構造、PLC（Programmable Logic Controller）等

以上